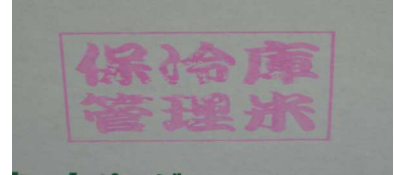


関東地方では梅雨入り早々から降水量の多い日が続いていますが、新潟でも例年より早めの梅雨入りでしたが梅雨の前半はいつも通り降水量が少なく、湿度の多い暑い日が続いています。

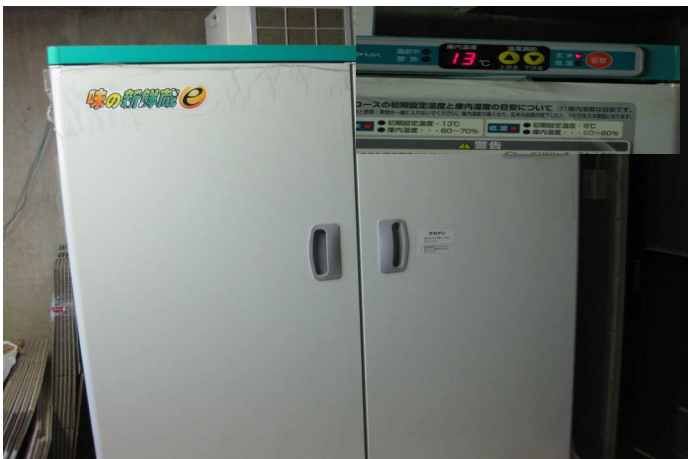
梅雨時期の高湿度と夏の高温が、お米の鮮度を急速に劣化させてしまいます。等農園では2台の保冷庫を使い5月から発送するお米はすべてこの保冷庫で12～13℃で管理された玄米を発送直前に精米しお届けしていますので、ほとんど収穫時と同じ状態でお届けしています。

お米が着きましたら、できるだけ低温で風通のよい場所か、短期間でしたら冷蔵庫の野菜格納室等で保管され、少しでも新鮮で美味しいお米を食べて頂きたいと思っています。

発送時には、米袋および発送箱に「保冷庫管理米」と表示しお届けしていますので、確認下さい。



5月以降発送しますお米は2台の保冷庫で低温管理されたお米を発送しています



5月17～18日に田植えを行ってから約1ヶ月となり稲丈も約30cmとなり株数も20数本に分けつし、順調に生育しています。来週から圃場に畝縦（水路切り）し、中干し作業に取りかかります。

この中干しについては、丈夫な稲作りについては大事な作業工程ですが、一方圃場内に生息する水性動物（オタマジャクシ、タニシ、ドジョウ、ホタル等）については、厳しい環境をつくることになることから、如何にして共存できるかについて、研究して行きたいとおもっています。

稲丈30cmを越えました

オタマジャクシの生息状況

水性動物の生育調査



6月7日新井道の駅イベント状況



6/7 新井道の駅、で開催されたイベントに、出店し、コシヒカリのポン煎餅作りの実演販売の売場者から好評を得て終了しました。

これから梅雨の降雨と暑い日がつづくことから稲も生育しますが、畔道や水路の雑草も、生育します。等農園では除草剤を一切使わないことから、これから秋の収穫期まで、この雑草刈作業がつづきます。熱中症に注意し頑張ります。

発行者：〒944-0023 新潟県妙高市西条755

妙高西条農園長 池田博子

☎ 0255-72-3497 fax 0255-72-2908

Eメール： ikedada@kanta.jp

ホームページ URL： <http://www.kanta.jp>